

# 高島平地域 まちづくりのお知らせ(かわら版) 第5号

## ●まちづくりの概要(つづき)

### 連鎖的都市再生の考え方

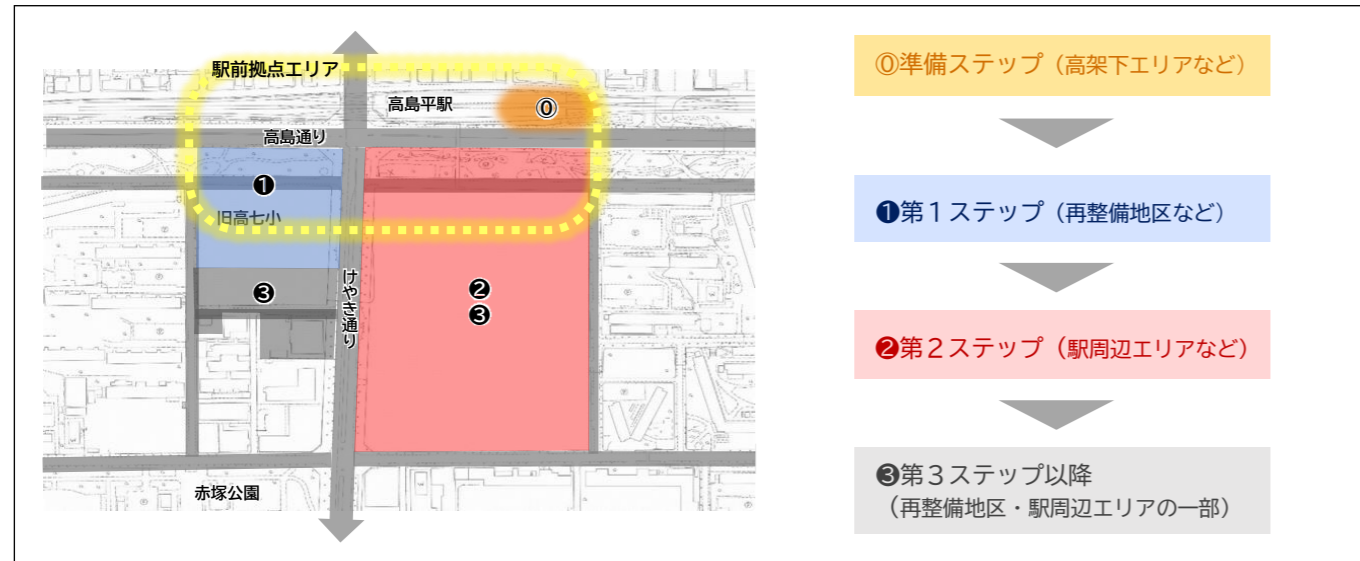
高島平地域の持続的な発展をめざし、連鎖的に都市再生を進める上では、単一的な地域課題の解決だけでなく、社会変化や地域のニーズを踏まえ、段階的に都市機能を強化し、戦略的にまちづくりを進めていきます。

また、連鎖的都市再生は準備期間を含めて時間がかかることから、ステップごとに高齢者や子育て世帯等、ターゲットを明確にし、効果を早期に発現させていく視点が重要です。

### ステップごとの取組概要

- ①準備ステップ(高架下エリアなど)
  - ・高架下空間の再整備
  - ・旧高七小・健康福祉センターの解体と道路整備
  - ・暫定広場の整備
- ②第1ステップ(再整備地区など)
  - ・再整備地区の建設工事
  - ・プロムナード(西側)の再整備、緑地内施設等整備
- ③第2ステップ(駅周辺エリアなど)
  - ・プロムナード(東側)の再整備、緑地内施設等整備
- ④第3ステップ以降(再整備地区・駅周辺エリアの一部)
  - ・ウェルフェアや健康づくり機能の配置等

### <連鎖的都市再生のステップ図>



## 今後のまちづくりのスケジュール

	G.D. 第1期			G.D. 第2期 R8~R17 (2026~2035)	G.D. 第3期 R18~ (2036~)
	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)		
駅前拠点エリア	施設・基盤・民間誘導の一体的な詳細検討			連鎖的都市再生の進展に合わせて、エリア全体の一体的な検討 深度化と各ステップの事業展開への反映	
準備ステップ ・高架下エリア ・再整備地区	高架下の活用に向けた調整		改修工事 施設運営・高架下空間活用		
	暫定広場の整備に向けた調整		整備工事 広場活用		
	旧高七小等の既存施設解体の調整		解体工事		
第1ステップ ・再整備地区 (プロムナード(西側)を含む)	プロムナード再整備等に向けた検討・調整		整備工事		
	施設計画の検討		建設工事		
第2ステップ ・駅周辺エリア (プロムナード(東側)を含む)	プロムナード再整備等に向けた検討・調整		整備工事		
	再整備地区の進捗状況に合わせて検討		段階的に整備		



高島平まちづくりギャラリー

高島平まちづくりに関する情報を発信する「高島平まちづくりギャラリー」を高島平図書館コミュニティスペースにて2月25日まで開設していますので、ぜひお立ち寄りください。

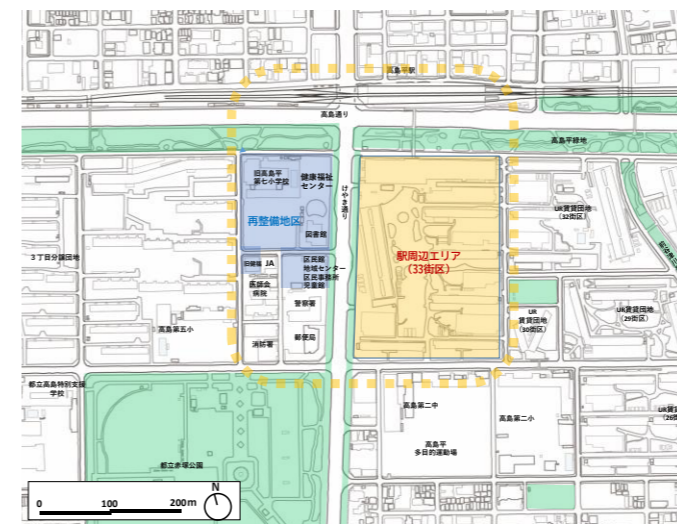


期間内で「成長する展示」をお楽しみください

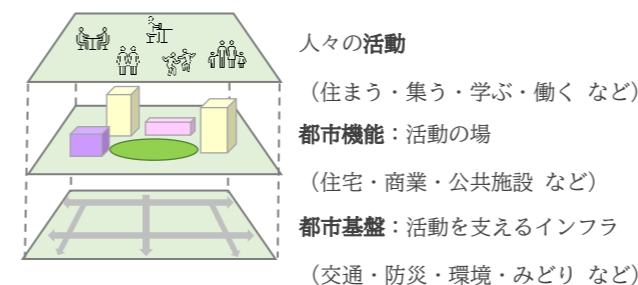
## 令和6年度からまちづくりの実行期へ移行していきます!

●まちづくりの概要 ※2-4頁もご参照ください。

### <交流核の位置>



### 交流核の構成イメージ



### 都市づくりの視点

高島平が次の世代にとっても誇りと愛着を持てるまちであり続けるために、

- ・多様な世代が健康に住み続けられるまち
- ・創造的な文化やにぎわいがあふれるまち
- ・災害への備えがあり地球にやさしいまち

をめざして、交流核での都市づくりを進めます。

軸となる緑地や道路空間を活用しながら、駅の南北やけやき通りの東西を一体的な歩行者空間でつなぐことで、回遊性が高く居心地の良い「人中心のまちづくり」を推進します。

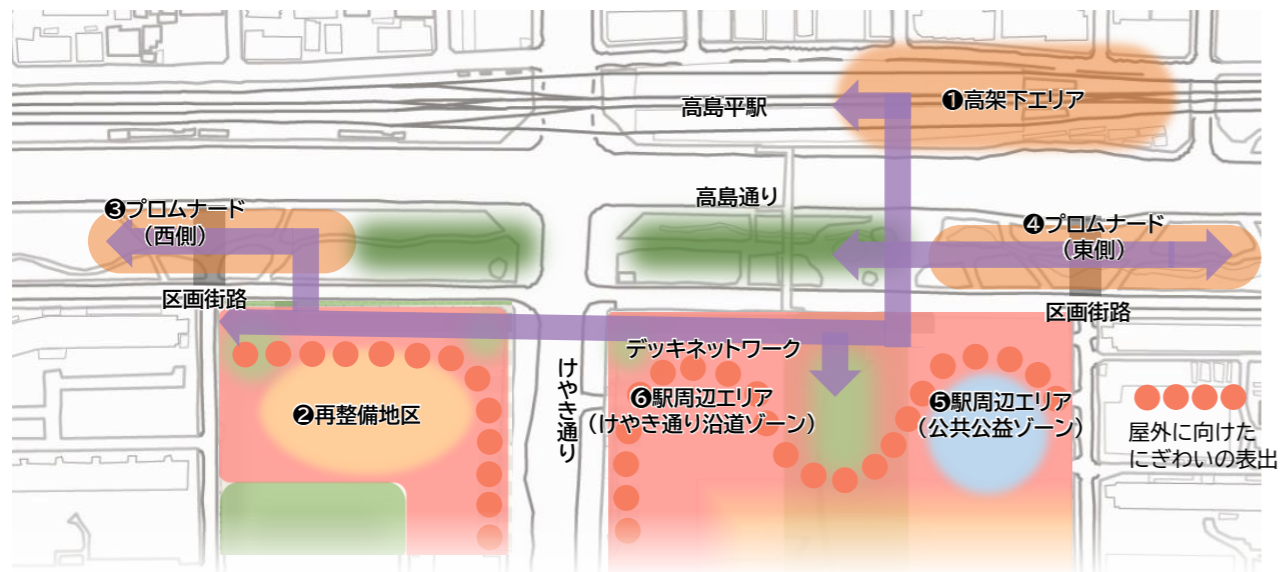
高島平らしさを感じる居心地の良い空間の中で「多様な活動がつながり合う」ことで、地域内外の交流が生み出される姿をめざして、活動を創造し、育み、支える視点を大切にしながら、都市機能や都市基盤のあり方を検討します。

## ●まちづくりの概要 (つづき)

### 駅前拠点エリアの考え方

高島平駅とプロムナードを中心として、再整備地区・駅周辺エリアと一体的ににぎわいを生み出し、地域の魅力を向上させる交流機能や公共公益機能を積極的に配置して、地域の顔となる拠点を形成します。

#### <駅前拠点エリアの整備方針>



#### ①高架下エリア

共創による活動が魅力や活力を生むまちをめざし、高架下空間を活用したまちづくりに参加したくなる機能を誘導し、駅前広場とデッキネットワークとつなげ、交流を生み出す空間を形成する。

#### ②再整備地区

住み続けられるまちをめざし、連鎖的都市再生の起点として、居住の安定と生活の継続性に寄与しながら、プロムナード(西側)と連携して安心・安全につながる空間を形成する。

#### ③プロムナード(西側)

未来を担う子どもを育てるまちをめざし、屋外空間を活かした子どもの体験・遊びを通じて、子どもの学びを支え、興味や感性を育てる場として、緑地と施設が一体となった空間を形成する。

#### ④プロムナード(東側)

地域の顔となる居心地が良い空間があるまちをめざし、生活を支える行政機能の誘導とみどりを活かした空間を形成する。

#### ⑤駅周辺エリア(公共公益ゾーン)

クリエイティブな活動があふれるまちをめざし、文化的で創造的な活動を支えるホール・図書館、モビリティ等の多様な機能を配置し、プロムナード(東側)と一体的に整備することで、高島平の顔となる空間を形成する。

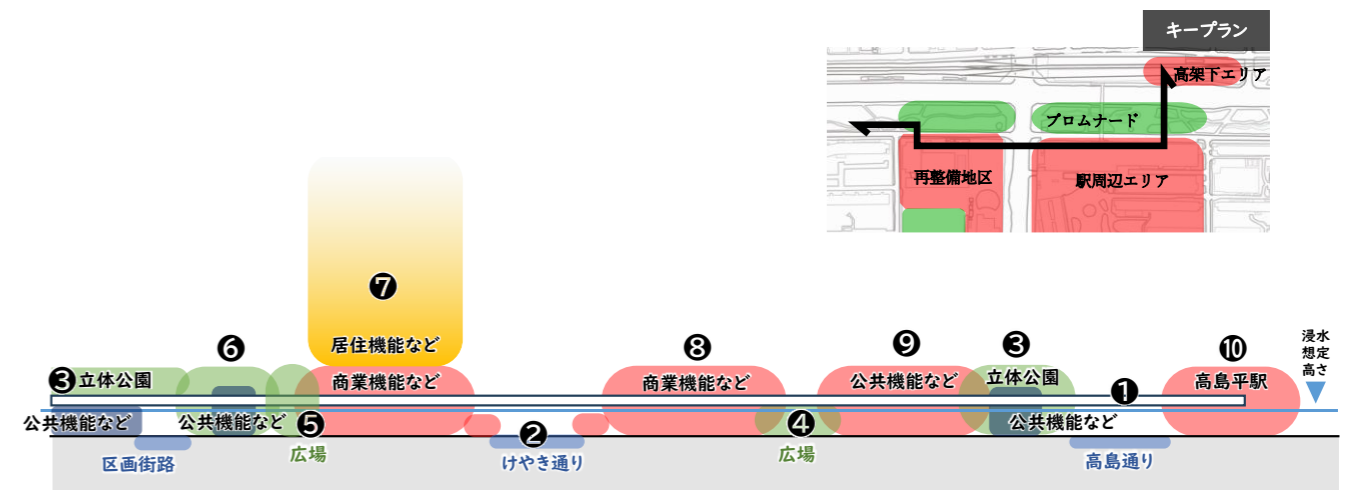
#### ⑥駅周辺エリア(けやき通り沿道ゾーン)

多様な活動があふれるにぎわいのあるまちをめざし、多くの人でにぎわい、楽しく買い物ができる機能を誘導し、多様な人の交流の場となる屋外空間と一体的な空間を形成する。

### 都市基盤、都市機能の考え方

人々の活動を支えるインフラである都市基盤と人々の活動の場となる都市機能についての整備イメージを示しています。

#### <駅前拠点エリアの断面イメージ>



#### 都市基盤のイメージ

##### ①ペDESTリアンデッキの整備

交流核を一体的につなぎ、ユニバーサルデザインに配慮した、誰もが快適で歩きやすい、多様な機能を持つペDESTリアンデッキを整備する。  
安心・安全で移動しやすいまちをめざし、利便性が高く、歩車分離を図りながら交流核の回遊性を高め、水害時には浸水期間であっても避難や物資の運搬に機能するデッキを整備する。

##### ②道路空間の再整備

沿道空間と一体的に、誰もが快適で歩きやすく、居心地が良い、人中心で質の高い道路空間へと再整備する。

##### ③立体的な公園・広場の整備

道路ネットワークの形成と歩車分離を両立し、合わせて水害時の退避場所ともなる、ペDESTリアンデッキと接続する立体的な公園・広場を整備する。

##### ④街区内広場の整備(駅周辺エリア)

ペDESTリアンデッキを含め、プロムナードと一体となった、災害時にも活用できる街区内広場を整備する。

##### ⑤街区内広場の整備(再整備地区)

再整備地区の整備に合わせて、災害時にも活用できる、プロムナードと一体的・複層的な空間を形成する街区内広場を整備する。

#### 都市機能のイメージ

##### ⑥プロムナード(西側)

特徴的な屋外空間と再整備地区の低層部分と連携し、子どもの学びの場として、興味や感性を育てる機能を整備する。

##### ⑦再整備地区

低層部には、けやき通り、デッキ、プロムナード側を中心に生活の継続性に配慮した商業機能を配置し、屋外空間と一体的な空間を形成する。中層部以上には、連鎖的都市再生の起点となる住民の居住の安定に資する住まいや、子育て世帯の定住化を促す機能などのミクストコミュニティの実現に向けた居住機能を誘導する。

##### ⑧駅周辺エリア(けやき通り沿道ゾーン)

交流やにぎわいの形成に資する商業機能を中心に誘導し、けやき通り、プロムナード、広場等の屋外空間と一体的な空間を形成する。

##### ⑨駅周辺エリア(公共公益ゾーン)

プロムナード、デッキ、広場側を中心に、文化・交流機能やモビリティ機能等を配置し、屋外空間と一体的な空間を形成する。

##### ⑩高架下エリア

高島平駅の高架下を活用し、まちづくりの情報発信や、まちの魅力を向上させる機能を配置する。